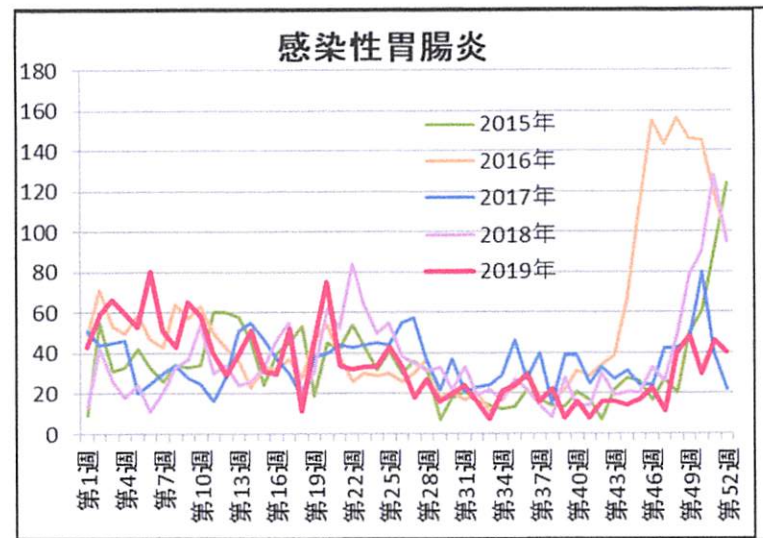
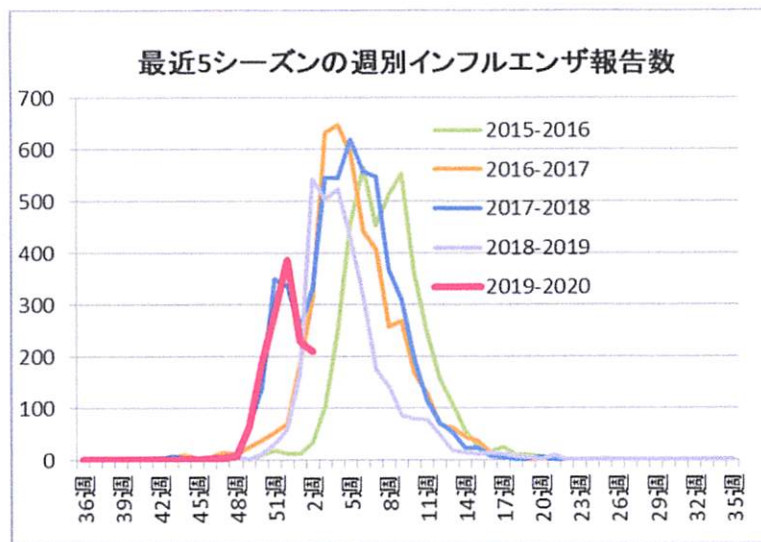


週間感染症情報

2020年2週 2020年1月6日より2020年1月12日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	2
手足口病	1
ヘルパンギーナ	2
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	30
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	2
ヘルペス性口内炎	3
アデノウイルス感染症	2
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ*(臨床診断含む)	209
インフルエンザA	196
インフルエンザB	1

3学期が始まり、小児のインフルエンザが増加しました。北小学校区・いじりの認定こども園で流行しています。インフルエンザAが196例、インフルエンザBは1例でした。咳から始まる症例が多くAH1pdmと思われます。今シーズンは1/15日までに1486例の報告があり、A 1325例 B 12例 臨床診断(ほぼA型) 149例 でした。家族内感染が多く、感染源不明の症例の報告も多く、市内全域にウイルスは広がっているようです。今後、小児の集団にウイルスが持ち込まれると、地域での大きな流行となっていきます。クラス内で、一人患者が出ると、数日後には周囲の4-5人が感染、1週間でほぼ半数が罹患して、2週間で流行は終息します。嘔吐を主とする、ウイルス性の胃腸炎が増えてきました。施設内流行もあります。病原性大腸菌O1とカンピロバクター陽性例が1例ずつありました。下のグラフから、インフルエンザの流行が早く始まったシーズン(2017-2018 2019-2020)は年末の感染性胃腸炎の流行のピーク低く、ウイルスの陣取り合戦があるような印象を受けます。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)